

# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会・会報

## 第5号

発行

2011年 5月 1日

## 市民参加でまちを変えよう！

### その1 市民にやさしいまちに！

#### 安心して通れる道の整備を！ 市内巡回バスを走らせよう

向日市は西日本一狭いまちです。その中に駅が近接駅も含めて5駅もあり、京都・大阪方面への交通至便。元気なら自転車で市内のどこにも行けます。

ところが……。市内の重要な道は狭くて危ない。市内の施設をつなぐバス路線は少なく、自転車に乗れない年配者はどこにも行けません。

何とかならないかとみんなが願いながら、いっこうに改善しないのはなぜでしょう。危険な生活道路・歩道の整備と、市内主要施設をつなぐ市内循環バスは、市民、特に障がい者・年配者の日常生活の安全と利便を大きく改善します。そのことにより、このまちが生き生きとしていきます。

ぜひ多くの市民が「何とかならないか」と願う課題の実現を図っていきましょう。

#### 原発震災から 市民の命を守ろう

福島原発の大事故は、対岸の火事ではありません。

日本随一の14基の原発が林立する若狭湾の原発銀座から向日市まで、わずか65キロ。しかも敦賀原発は、活断層の真上に立っています！



中越沖地震、今回の地震と、原発は大地震時、大きな事故をおこすものであることがわかりました。では、まちの備えはできているでしょうか？残念ながら「原発は絶対安全」の前提に立ってきたので、何の備えも無いのです！

必ずやってくる大地震による原発事故から市民の命を守るため、①行政は、原発事故の際の対策（放射線測定は必須！）をしっかり立てること、②若狭湾の原発は一旦停止し、すべての情報を公開して、日本中の専門家・市民参加の下で安全検証を行うこと、③原発は、ひとたび大事故を起こせば、一地方を人の住むことのできない地域にしてしまいます。とりわけ世界有数の地震多発国・日本に原発は危険すぎます。原発を廃止し、代替エネルギーへの転換を進めるよう求めて行く必要があります。

杉谷さんとともにまちを創る会

向日市寺戸町辰巳4-1 中嶋荘1-101 TEL/FAX 932-1325

ホームページもご覧ください

<http://sugi.pupu.jp/>

# 4月の報告

## 4/17 原発事故講演会 「放射能汚染の真実」

まず、放射線被曝の規準値・許容量という考え方について話を聞きました。テレビでは、専門家なる人が放射線被曝は年間100mSvまでは健康に影響ない、など無責任な発言をしているが、とんでもない。法的な国際規制値は年間1mSv。特別に放射線作業従事者が年間に受ける限度量として年間20mSv（シーベルト）という制限値があるが、ICRPという原発推進側に立つ任意の国際団体が決めた数値であり、内部被曝を無視しており何ら安全を保障しない。今政府は、この年間1mSvという限度値すら無視しその20倍で

ある放射線作業従事者を対象とした年間20mSvを一般市民や子どもにまで「問題ない」と言い出している。放射線の許容値に「これ以下なら健康に影響はない」という限度値など無いと、国際調査データを示して説明がされました。

### 自治体に原発事故への備えは全く無い

次に自治体の防災対策に関して。これまで「原発は絶対安全」が建前になってきたので、事故が起こった時にどうするかという原発事故時の危機管理マニュアルは、自治体では作っていない。しかし現実問題として、若狭湾の原発が大事故を起こしたら、確実に琵琶湖の水が汚染され、京阪神一帯の水が飲めなくなる。まず活断層の上に立つ敦賀原発を止めるよう求めていくことが必要。今でも海が汚染され、魚が危ない。子どもの放射線への感受性は大人より遙かに高いので、京都でも学校給食の材料調査は必要ではないか。放射線測定など自治体へ申し入れていくことも提言されました。

## 4/23 福祉講座（第4回） 「保育所が変わる？」

### 子どもの保育環境も「お金次第」に

4月23日、地元乙訓で働くベテラン保育士の方を招いて、第4回福祉講座「保育所が変わる？」を持ちました。

政府は保育制度を「子ども子育て新システム」というものに変更しようと、今国会へ法案提出の準備が進められています。これにより公的保育は、住民に対する国や自治体の義務から、支払う料金に応じて事業者が提供するサービスへと根本的に変わります。それがいったいどういう意味をもち、子どもの保育の実態がどのように変わるのかを聞きました。

- ①現行制度では、保育所への入所は国や自治体が保障しなければならない責務であるのが、その責任がなくなり保育所に入所できるかどうかは親の財力と力次第になります。
- ②受ける保育の水準も支払う料金次第。
- ③子どもの発育中心の保育から、契約した時間預かる託児へ。



④保育所の運営面からも、サービスを提供した時間だけ料金を受け取る仕組みになり、安定収入が難しく、パートや非正規保育士が増える。などの問題が指摘されました。

こんな重大なことなのに、一般にはほとんど知られていないのではないのでしょうか。

すでに、保育所設置条件の最低基準が廃止・緩和され、詰め込み保育など子どもの保育環境の悪化が進んでいるとのこと。向日市でも、待機児解消のため定員を超えて子どもを受け入れ、狭い保育室に詰め込みがされていると聞きます。こんな事についてもチェックが必要です。

# 会員の声

## 向日市は、震災の備えは大丈夫？

向日市の市役所は、大震災の時には機能しないと市役所の方から聞いています。津波はなくとも地震の際に耐震化もされてない市役所が、市民の救援・復旧のセンター機能を果たせるのか？ 被災地支援に積極的に行って、備えに活かしてほしい。(Y)

## 役所は現場を見て、すぐ動いて欲しい 1つの窓口で市民の要望に対応して！

私は、社会福祉会館に週1回行くのですが、図書館前から物集女街道を南へ行くと、徐々に勾配がきつくなって、車いすの私には本当に大変です。先日は、福祉会館北側の住宅開発工事のために歩道が壊れてじゃりが見えていて、通るのにとっても苦労しました。翌週も壊れたままなので、乙訓土木事務所に電話したところ、現場を見てないのでどんな状態になっているか知らないとの返事です。早急に整備をして通行の安全を確保するよう要請しました。その後仮のアスファルトが敷かれました。

しばらくすると、そこに今度は歩道の幅の半分近くまで建設のための囲いの足場が組まれてしまいました。車いすで避けて通るのは大変です。こんなに歩道の半分をふさいでいいのでしょうか。市の都市計画課に電話したら、「現場は見えていないので知らない。土木事務所が許可を出しているから、こちらからはどうということとは言えない」との返事です。一週間たってもそのままでした。

歩道は安全に通れるようお願いしたいのです。役所は、現場をしっかり見てください。そして府道だ、市道だなどと言わず、道路のことは一つの窓口で取り扱って欲しいです。(K)



## 杉谷さんの熱意に期待！

これから向日市も高齢化していくので、市内巡回バスを通してほしい。これが私が一番向日市に実現してほしいことです。福祉会館や体育館など、せっかく良い施設があるのに、利用できない人が多い。市役所に行きたくても足がなくて行けない人がいるんです。

私は、杉谷さんが市民のために一生懸命働こうとしている熱意に共感して、この会に入って手伝うことにしました。まちを変えていこうという熱意のある人が、議会に入って力を発揮しないとまちは良くなりません。杉谷さんは、少しおっちょこちょいで口べたな所があるけど、その熱意とひたむきさに私は期待しています。(T)

## 有意義だった 「杉谷ひろば」での会話

この間、週に1回弱くらい「杉谷ひろば」の当番をしていました。やる前は、いったい何をするんだろうと思っていましたが、立ち寄った会のメンバーや来場された方と、向日市のことや今のこどもたちの教育について、また最近では地震・原発についてなど、いろいろ話ができて、普段と違った世界が広がったような気がします。また、「杉谷ひろば」には色々な社会問題を扱ったDVDが置いてあり、また展示もあります。「杉谷ひろば」の当番を有意義に過ごせば、じっくり考える機会が得られるのではと思います。

皆さんも時間があれば「杉谷ひろば」に立ち寄って、そういう機会を作ってみては？(S)



5/15(日)

## 5月例会

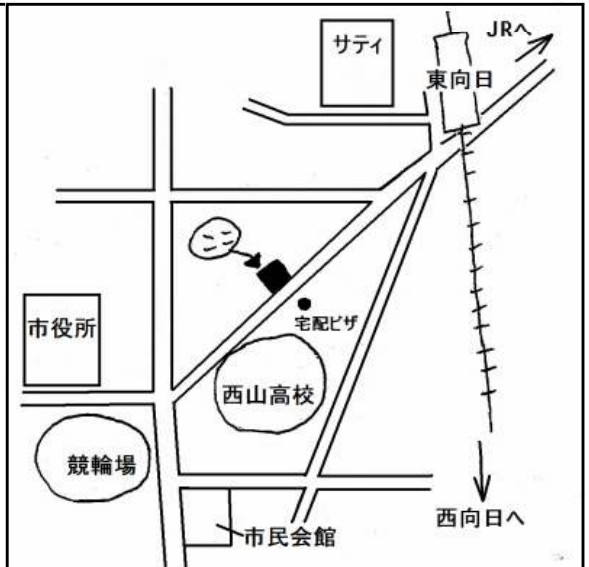
**午前** 会員定例ミーティング

10時～12時・杉谷ひろば（右地図）

**午後** ミュージカル「フリーダム」公演の鑑賞

13時開場 13時30分開演

向日市民会館・ホール



## 街角から

### ●阪急バスの減便で困ってます

「3月末から、阪急バスの東向日駅へ行く路線が無くなって、困っています。長岡京駅へ行くバスも便数が減ってしまった。夕方6時台のバスが無くなってしまって、使いたい時間帯のバスが無くなり、娘が本当に困ったと言っています。私らにとってバスが無かったら本当に困る。どこにも行けません。」

### ●JR長岡京駅への道が怖い

「JR長岡京駅方面に行くのに安全な道がありません。JR沿いの道しかないけど、車が飛ばして危ないし、夜は暗く怖くて歩けない。何とかならないでしょうか。」

### ●政党助成金を震災支援に

「政党助成金を、東日本大震災への支援に回してはどうでしょうか。自分の税金が支持もしていない政党に使われるより、震災で困っている人の支援に使って欲しい。良い提案だと思うんですけど。」 →〈補足〉政党助成金は、税金から毎年計約320億円が各政党に支払われています（注：共産党は受け取りを拒否）。

## 枚方市議員選挙を見学して

杉谷さんの世話役として参考になるかと、大阪府枚方市議会の選挙運動の見学に2回出掛けた。

私の友人が呼び掛け人として、「平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会」の手塚さんと言う方を応援しているからだ。4年余り毎月「平和がいちばん」という新聞を発行し、街頭にも立って演説をしてきた人だ。

枚方市は50人近くが立候補して35人しか当選しないと言う激戦区だ。向日市の24～25人立候補して20人当選よりはるかに厳しい。チラシ配りをしてみたが、小さいス

ーパーの前は関心のある人が多いが、駅前には全然だめ。何を考えて生きているのかと、つい思ってしまう。あの人達にどのようにして関心を持ってもらうか、選挙など行かない人なのだろうかと考えさせられた。出陣式（10日朝8:30）は活気があった。40～50人集まり、米軍普天間基地の移設が狙われている沖縄県名護市で基地受け入れ反対を訴える名護市議の参加や歌もあり盛り上がった。

私たちもがんばらなければと決意を新たにしました。

(Y)

（注：手塚たかひろさんは当選され、7月9日の特別例会に来ていただくことになりました）